

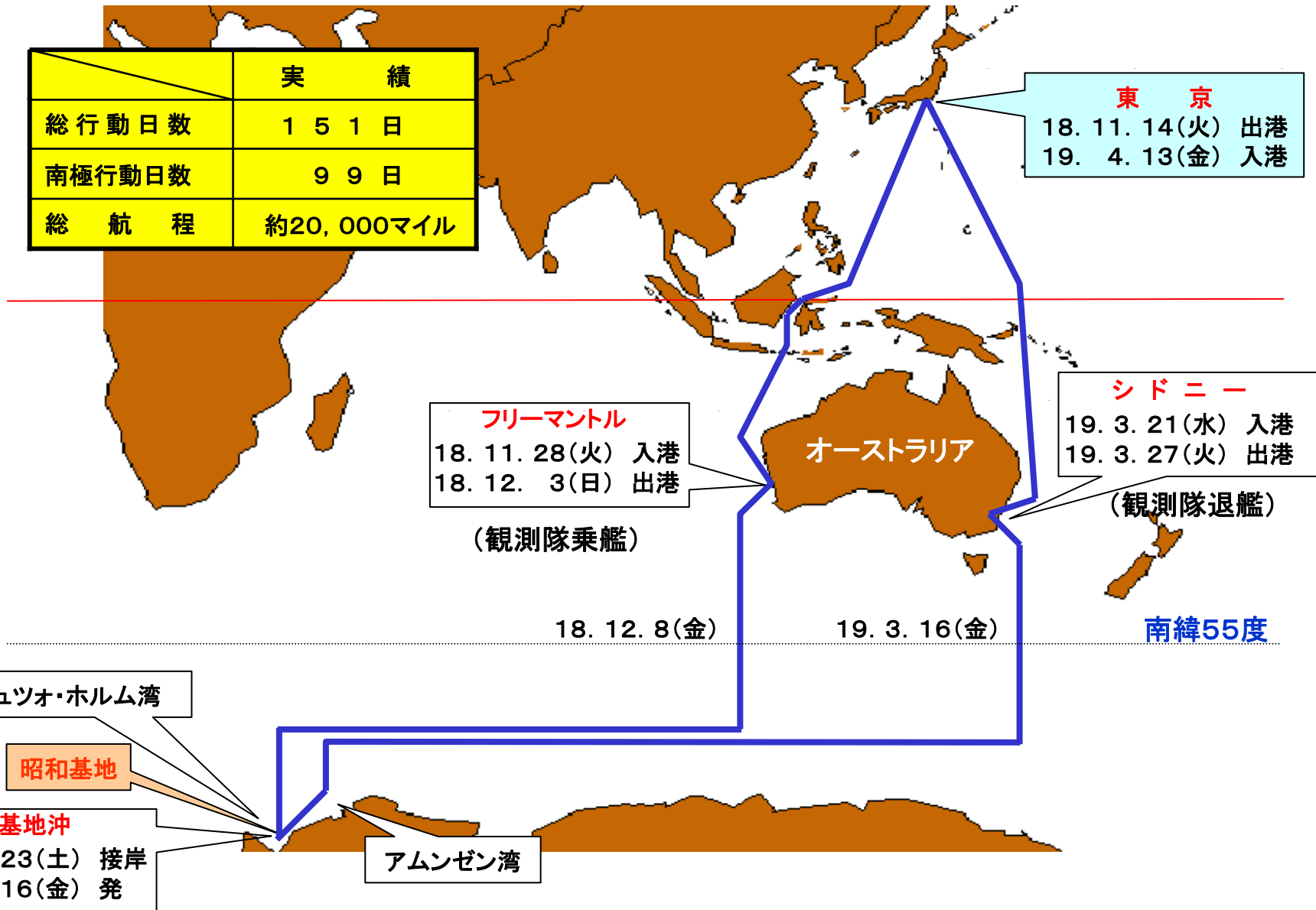
第48次南極地域観測協力行動について



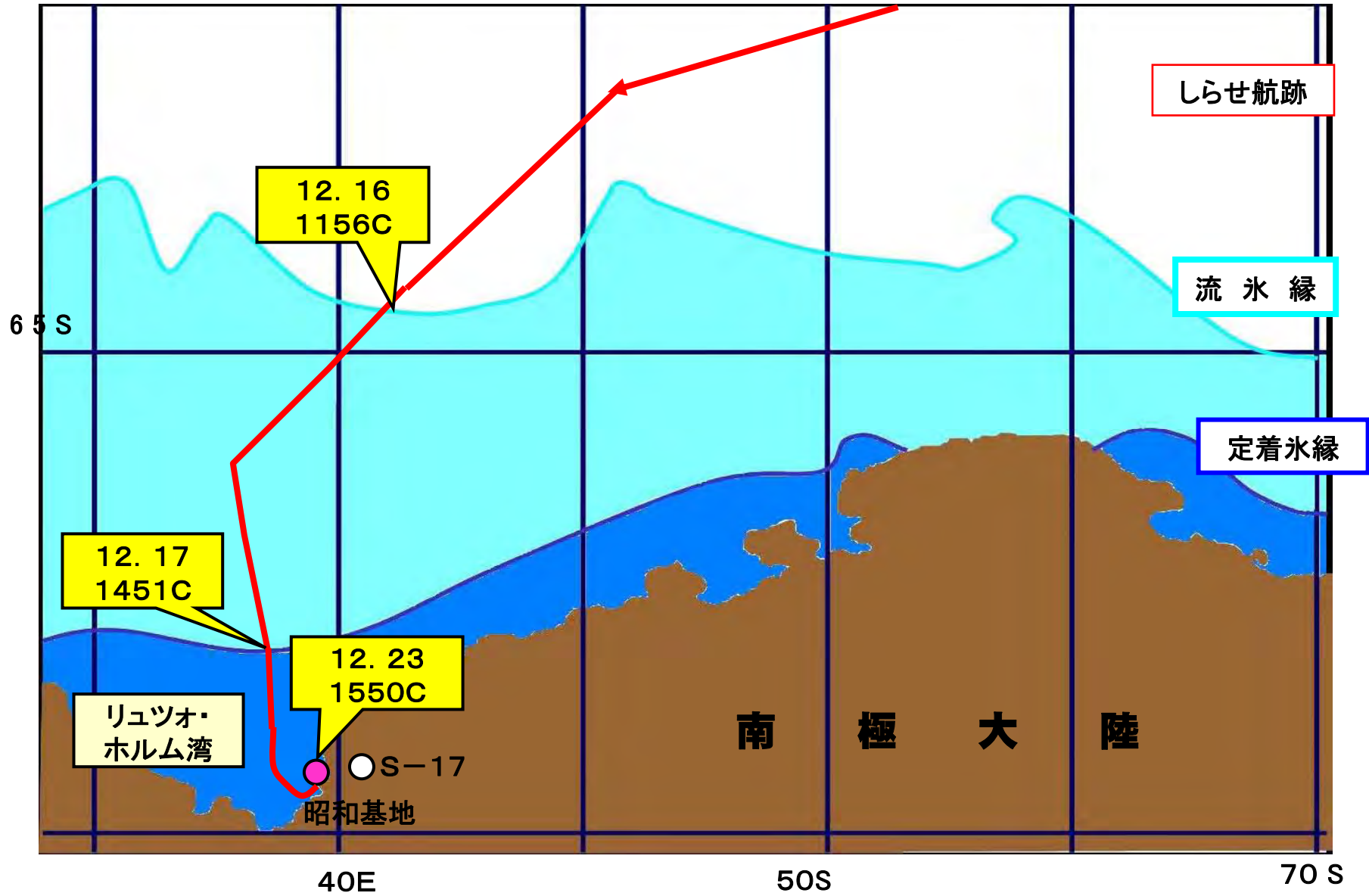
防衛省 海上幕僚監部
南極観測支援班

第48次南極地域観測「しらせ」行動実績

	実 績
総行動日数	151日
南極行動日数	99日
総航程	約20,000マイル



氷海における行動



リュツォ・ホルム湾航跡図

12. 17(日) 1451C
リュツォ・ホルム湾沖
定着氷縁進入
68° 21. 0' S 38° 42. 3' E

12. 18(月)
0904C(1023C)
停船観測支援

18日0000C

19日0000C

12. 19(火)
1422C(1526C)
空輸(昭和第1便)

12. 20(水)
0805C(1119C)
野外観測支援
0832C(1656C)
空輸

20日0000C

21日0000C

12. 21(木)
0805C(1701C)
空輸

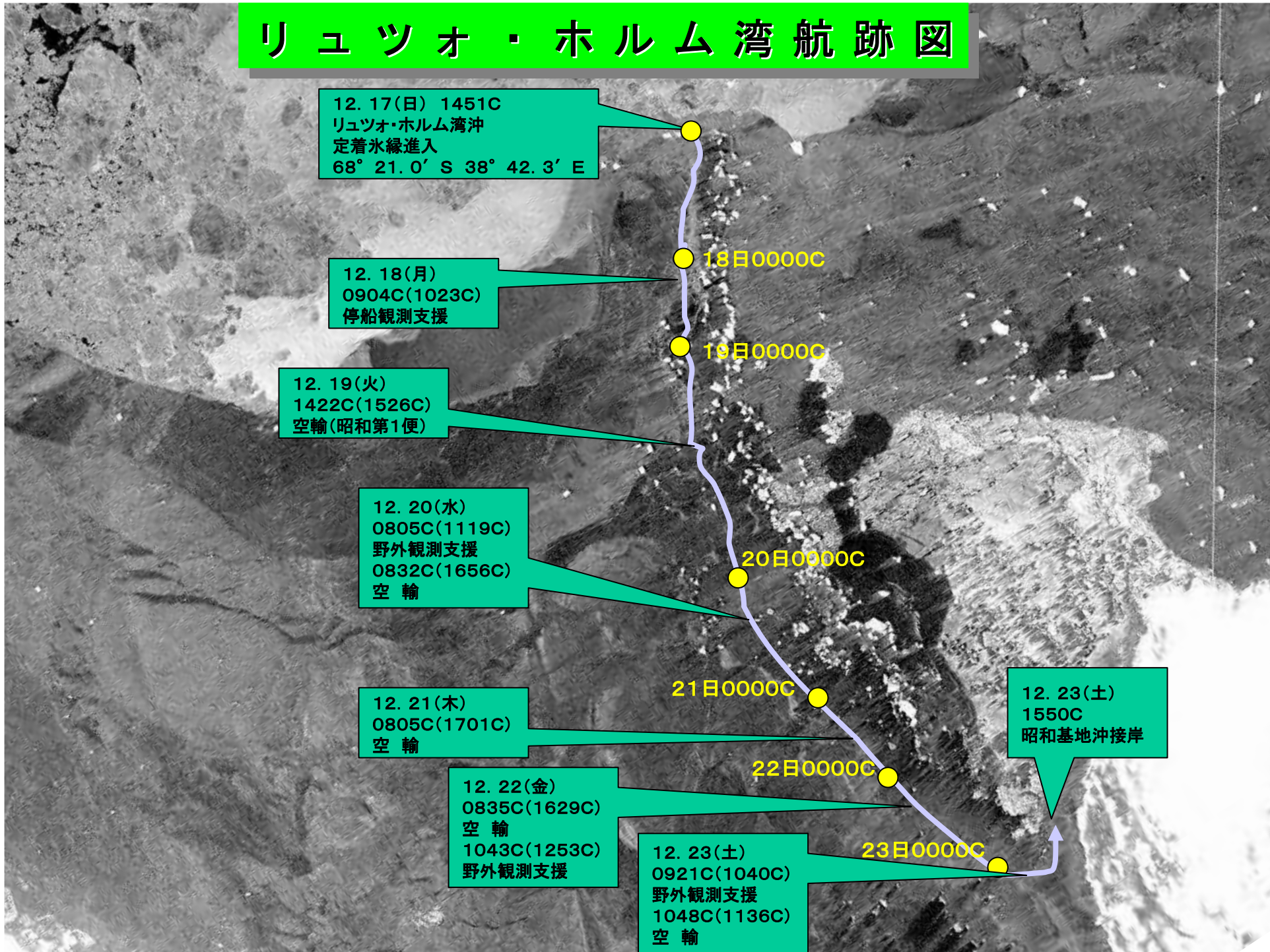
22日0000C

12. 22(金)
0835C(1629C)
空輸
1043C(1253C)
野外観測支援

12. 23(土)
1550C
昭和基地沖接岸

12. 23(土)
0921C(1040C)
野外観測支援
1048C(1136C)
空輸

23日0000C



輸 送

(1) 物資輸送

ア 内容別輸送量

内 訳	輸 送 区 間	重量(トン)	記 事
第48次隊物資	東京～南極基地	1,109.0	船上使用物資を含む。
持 帰 り 物 資	南極基地～東京	312.0	

イ 輸送手段別輸送量(昭和基地向け物資)

輸送手段	重 量 (トン)	
空 輸	344.0	1,090.0
氷上輸送	262.0	
パイプ輸送	484.0	



(空 輸)



(氷上輸送)

(2) 人員輸送

区 分		員 数		輸送区間
往 路	第48次	越冬隊	33	フリーマントル ～ 南極基地
		夏 隊	23	
		夏隊同行者	4	
復 路	第47次	越冬隊	36	南極基地 ～ シドニー
		夏 隊	23	
	第48次	夏隊同行者	4	



(パイプ輸送)

基地作業等支援

◇建築

- ・Cヘリポート改修工事
- ・道路工事
- ・ケーブルラック改修工事
- ・基地貯油タンク送油管工事
- ・機械建築倉庫建築工事
- ・ロケット発射台解体工事 etc.

◇機械

- ・2号発電機オーバーホール
- ・1号発電機ベアリング交換 etc.

◇その他

- ・S17物資空輸支援(荷受け)

・基地作業:延べ492人・日



野外観測支援

リュツオ・ホルム湾周辺

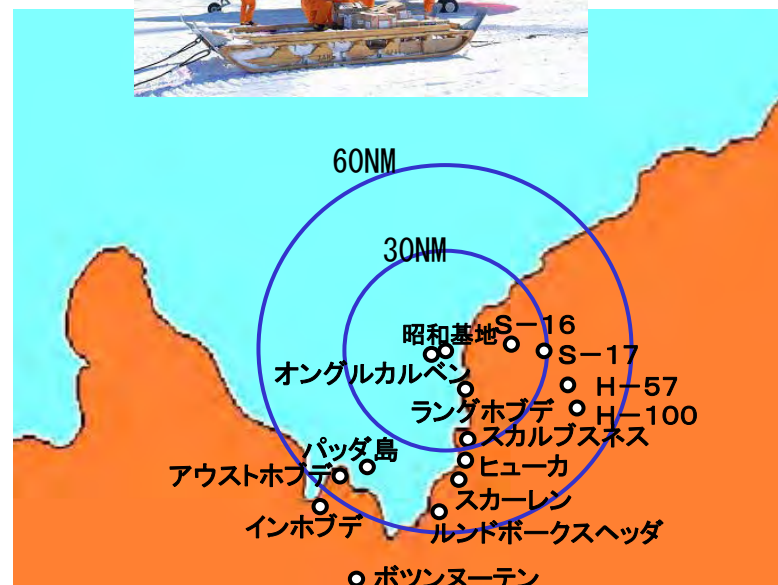
観測地点: 14箇所

期間: 12月中旬~2月中旬

空輸: 約80便

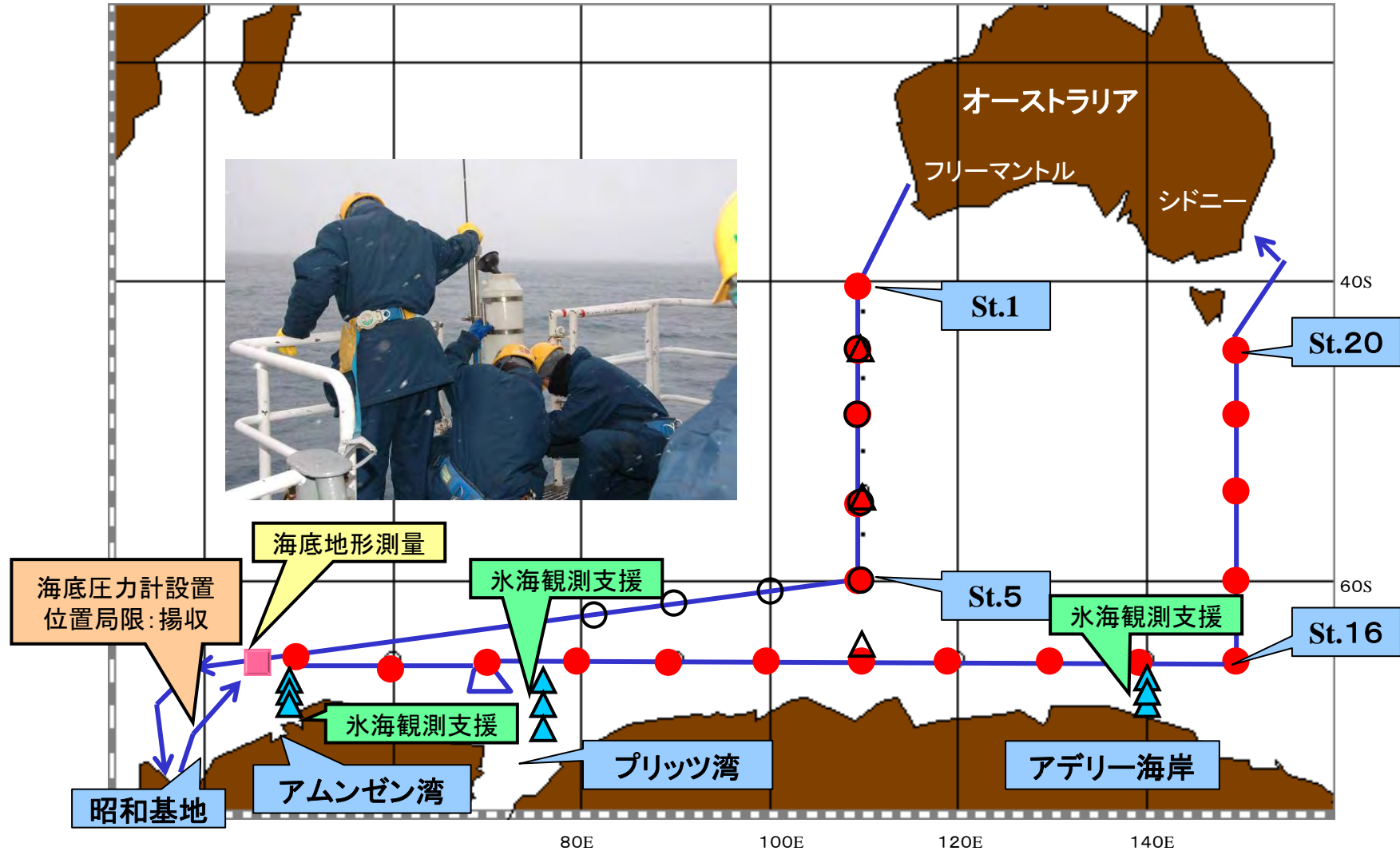
観測項目: 生物、海洋、地学等

※アムンゼン湾: 2便



海洋観測支援

● 停船観測 ▲ 氷海海洋観測 △ 漂流ブイ ○ 豪州漂流ブイ ■ 海底地形測量



スペイン漁船『TIPHON-I』の乗組員に対する医療支援

1 期間

18. 12. 28(木)～29(金)

2 場所

昭和基地沖約300マイル

3 経過概要

280925C 漁船に急患発生

1301C 「しらせ」第1報入手

1513C ケープタウン海上救難調整センターから医療支援要請

1939C 防衛省から「しらせ」に対し支援を指示

2230C 野外観測パーティー撤収完了

2330C 輸送物資再固縛、荒天準備完了

290008C 昭和基地沖発

1511C 漁船と会合

1530C～医療支援

1910C 現場発

300833C 昭和基地沖着

4 患者の状況

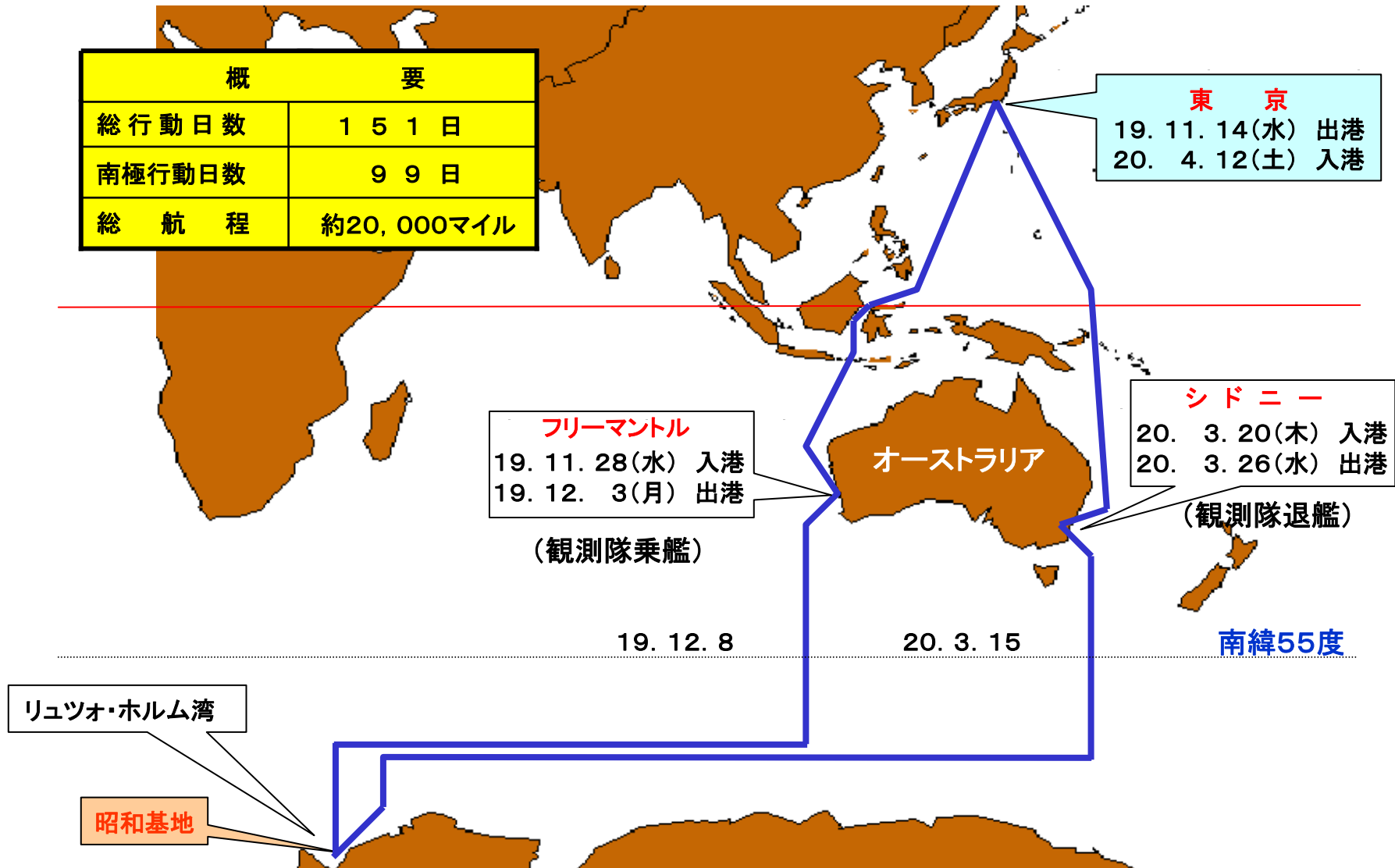
ロシア人男性(56歳) ラクナ梗塞の疑い(脳梗塞の一種)

様態は安定。緊急に搬送する必要なし。



第49次南極地域観測「しらせ」行動計画(案)

概 要	
総行動日数	151日
南極行動日数	99日
総航程	約20,000マイル



「しらせ」平成19年度年次検査主要工事

工事所掌	工 事 内 容
船 体 部	<ul style="list-style-type: none"> ● 船体外板の氷海塗料損傷箇所の補修 ● 甲板機械等の検査工事 <ul style="list-style-type: none"> ♪ 1, 2番デッキクレーン、2番エレベーター、ハッチカバー油圧シリンダー ♪ 揚艇機、内火艇 ● 諸管装置の新替え(真水管、海水管、汚物管等) ● 発錆の著しい箇所の補修等(マスト構造物、防水区画、減揺タンク、手摺り等)
機 関 部	<ul style="list-style-type: none"> ● 推進用発電機原動機 <ul style="list-style-type: none"> ♪ 1、2及び3号推進用発電機原動機のオーバーホール ♪ 4、5及び6号燃料ポンプ分解検査 ● 主発電機用原動機 <ul style="list-style-type: none"> ♪ 3、4号オーバーホール ♪ 1、2号シリンダー蓋、ピストン、シリンダライナ分解検査 ● 補機類等 <ul style="list-style-type: none"> ♪ 1号空気圧縮機オーバーホール ♪ 1、3号補助ボイラ加熱管検査
電 気 部	<ul style="list-style-type: none"> ● 主発電機(3, 4号主発電機の開放検査) ● 推進発電機(4～6号推進発電機の開放検査) ● 推進電動機(3及び6号推進電動機の開放検査) ● 2号観測用電動発電機、2号艦内サービス用電動発電機の点検整備
武 器 部	<ul style="list-style-type: none"> ● ホイップアンテナ5本の新替え ● 航海機器の点検整備(ジャイロコンパス等)

砕氷艦「しらせ」 平成19年度 年次検査工事日程表

工事名称	H19年 4月							5月							6月							7月							8月																																																	
	23	24	25	26	27	7	8	9	10	11	14	15	16	17	18	21	22	23	24	25	28	29	30	31	1	4	5	6	7	8	11	12	13	14	15	18	19	20	21	22	25	26	27	28	29	2	3	4	5	6	9	10	11	12	13	17	18	19	20	23	24	25	26	27	30	31	1	2	3	6	7	8	9	10	11	12	13	14
主要日程	造船所接岸・陸上烹炊・冷凍品陸揚 艦内給電							入渠 渠中(中6日) 出渠							入渠 渠中(中7日) 出渠							第2回工程会議 主発起動 主発公試 M/G公試(艦内サービス及び観測用) 燃料搭載 FO(予定) 燃料搭載 FO(予定) 燃料搭載 JP5(予定) 主機起動 LO(予定) 燃料搭載 JP5(予定) 艦内烹炊開始 冷凍品積込み(予定)							係留運転 出港・艦船部 予行運転 艦船部 海上運転 横須賀回航 予備日 海上運転 武器部 海上運転 予備日 予備日 契約納期																																																	
所在	中央岸壁							1号ドック							中央岸壁							1号ドック							中央岸壁							横須賀港																																										
検査工事																																																																														
修理工事																																																																														
烹炊場所	▲陸上烹炊移転 冷凍品陸揚							陸上烹炊																					▼艦内烹炊移転 冷凍品搭載 艦内烹炊																																																	
付帯工事	床・通路養生 仮灯準備																												床・通路養生撤去 仮灯撤去																																																	
仮設冷房																						仮設冷房							艦内冷房給電																																																	
陸電供給																																																																														
工程会議	◎第1回工程会議																												◎第2回工程会議																																																	
定期安全巡視 (13:30~14:30)								◎							◎							◎							◎																																																	

次期砕氷艦（17AGB）の建造状況

防 衛 省

1 17AGB工程線表

6月5日現在

年度・月 項目	17Fy			18Fy												19Fy												20Fy												21Fy																	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6															
概要	○契約																							◎起工																							▽ブロック搭載開始	▽主機搭載	○軸心見通し	△進水	◆第1回入渠	◆第2回入渠	○主機機動	◆第3回入渠	◆第4回入渠	○確認運転	●引渡し(就役)
詳細設計	← 詳細部分(詳細構造、詳細配置、装備品等)の検討・図面作成、承認 / 各種装備品等の試験方法の検討 →																																																								
船殻工事	← 船殻工事(小組→大組→ブロック搭載)、ぎ装品搭載準備、構造関係の検査 →																																																								
船体艙装工事	← 先行ぎ装(一部の装備品)、大型ぎ装品搭載、航空関連ぎ装 → 居住区ぎ装、諸試験、海上公試																																																								
機関艙装工事	← 機械室ぎ装、推進軸、プロペラぎ装 → 諸試験、係留公試及び海上公試																																																								
電気艙装工事	← 電纜、発電機、推進電動機、配電盤等ぎ装 → 諸試験、調整試験及び海上公試																																																								
観測装置 装備工事	← 観測器材関連ぎ装 → 調整試験及び海上公試																																																								
航海光学 装備工事	← ジャイロコンパス、測深儀等ぎ装 → 調整試験及び海上公試																																																								
通信情報 装備工事	← 無線機装置、送受信装置、空中線ぎ装 → 調整試験及び海上公試																																																								
電測装備工事	← レーダー通信装置、レーダー用電子機器、電纜敷設 → 調整試験及び海上公試																																																								

2 17AGB建造状況

1 現在の状況

(1) 船体構造のブロックを建造中

(2) 建造ドックへのブロック搭載開始予定は、19年9月頃

2 船体構造の建造状況



ブロック組立(二重底部)

補足 船舶建造の流れ

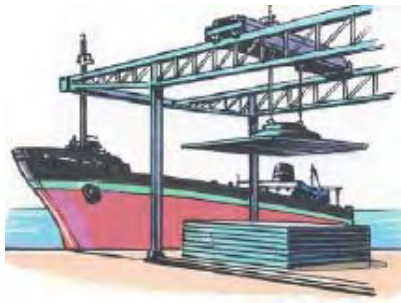


建造契約

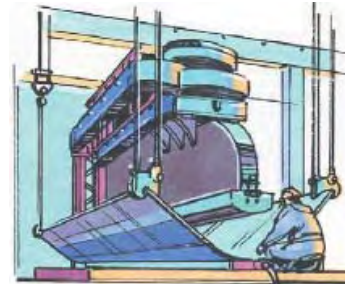


材料・寸法等決定

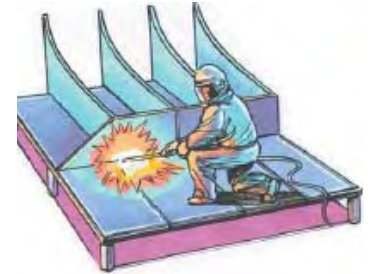
艀装品
詳細仕様決定



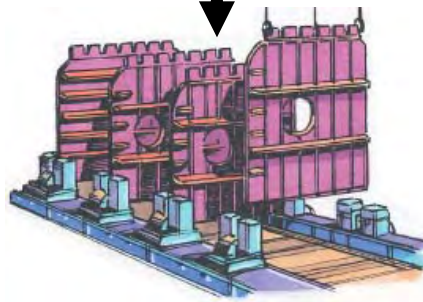
鋼材発注・受領



鋼材加工

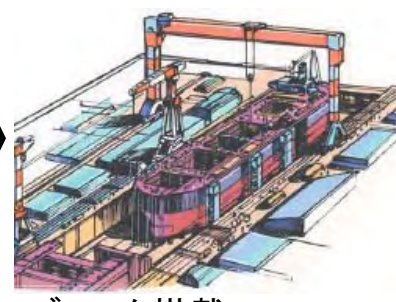


小組み



大組み・ブロック組立

(一部搭載)



ブロック搭載
主機／推進軸艀装

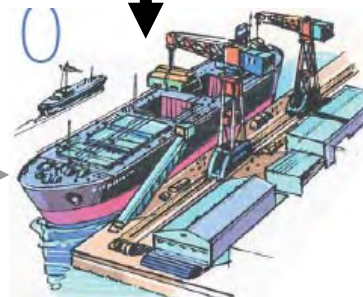


進水



艀装品発注・受領

(搭載)



艀装



海上公試・就役 4

「ぎ装に関する国立極地研究所との調整会議」について

1 経緯

平成18年4月25日に開催された「南極地域観測統合推進本部 南極輸送問題調査会議 船舶による輸送体制分科会（第6回）」において、国立極地研究所と防衛庁との間で、更なる緊密な態勢でもって17AGBの詳細設計を進めていくことについての必要性が強調された。

本調整会議は、これを受けて設立されたものである。

2 目的

観測隊員及び同物資の輸送並びに南極地域及び輸送途次での洋上観測を円滑に遂行するため、極地研の要望を詳細設計に可能な限り取り入れ、17AGBの建造に反映することを目的とする。

3 主要参加者

別表のとおり。

4 開催した日時等

1 回次：18. 5. 24(水)

2 回次：18. 6. 27(火) (2 回次以降は艦船分科会及び武器分科会として開催)

3 回次：18. 7. 20(木)

4 回次：18. 10. 23(月)

5 主要な検討項目

- (1) 貨物倉へ搭載する物資の形状及び数量
- (2) CH-101 航空機を用いた物資の輸送方法
- (3) CH-101 航空機に搭載するコンテナ等の仕様
- (4) 観測隊居住区配置
- (5) 観測隊オペレーション室及び観測隊ネットワーク室の配置
- (6) 観測隊用 LAN 支援機能
- (7) 各種観測器材(表層海洋モニタリングシステム等)のぎ装要領
- (8) 観測隊用通信支援機能

「しらせ」退役後の後利用（案）

1. 「しらせ」退役後の後利用について

南極観測船として広く国民に親しまれてきた「しらせ」の今後については、「宗谷」、「ふじ」と同様に国民、特に青少年の南極観測に対する関心と理解の増進に役立つ形で保存活用される可能性について検討する。その際以下の順序で検討する。

- ① 国の機関に所管換の照会
- ② 都道府県等に対する利用の有無の照会
- ③ 解体条件付き払い下げ

2. 検討の時期

- ① 後利用の検討結果については平成20年6月開催予定の本部総会に報告する。
- ② 主な日程案は次のとおり（想定）

・平成19年	6月本部総会	後利用検討の進め方について報告	
・平成19年	6月	国の機関に所管換の照会	
・	”	7月	都道府県等に利用希望の照会
・	”	10月	利用計画提出の締切り・とりまとめ
・	”	11月本部総会	検討状況について報告
			後利用検討委員会の設置
・平成20年	5月	後利用検討委員会報告書の決定	
・	”	6月本部総会	後利用方針について報告

参考：「ふじ」の場合

- 主な日程は次のとおり
- | | | | |
|--------|---------|-----------------|------------------|
| ・昭和58年 | 11月本部総会 | 後利用検討の進め方について報告 | |
| ・昭和59年 | 12月 | ” | 国の機関に所管換の照会 |
| ・ | ” | 2月 | 都道府県に利用希望の照会 |
| ・ | ” | 3月 | 利用計画提出の締切り・とりまとめ |
| ・ | ” | 6月本部総会 | 検討状況について報告 |
| ・ | ” | 8月 | 後利用検討委員会設置 |
| ・ | ” | 10月 | 後利用検討委員会報告書の決定 |
| ・ | ” | 11月本部総会 | 後利用方針について報告 |